



愛知県芸術劇場 コンサートホール

オルガンブック

愛知県芸術劇場 コンサートホールのパイプオルガン

〈カール・シュツケ・ベルリン・オルガン製作所製〉

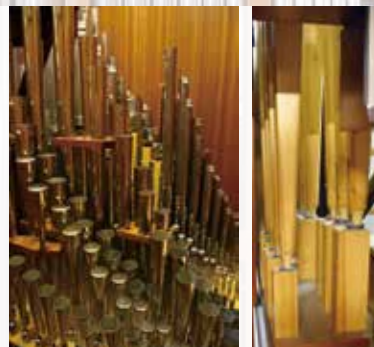
パイプ総本数6,883本、ストップ(音色)93種類、手鍵盤5段+足鍵盤(ペダル)1段という国内最大級の愛知県芸術劇場の
パイプオルガンは、ベルリンでの設計・製作に約4年、劇場内での組立て・整音に半年近くかけて、1992年9月初旬に完成しました。
全てオーダーメイドで作られており、世界的に見ても最大級のパイプオルガンです。

パイプ(笛)

6,883本

主に、錫(すず)と鉛(なまり)の合金のものと、木製のものがあり、長いほど低い音、短いほど高い音が出ます。長さは4階ほどの高さの11mくらいから、小指の爪ほどの1cmくらいまであります。

素材・形・発音方法により音色が異なり、1本のパイプは、1種類の音色・1つの高さしか出せません。



鍵盤

手鍵盤 5段
足鍵盤(ペダル) 1段

鍵盤をおさえると弁が開き
空気がパイプに流れ込んで
音が出ます。



ストップ(音色)

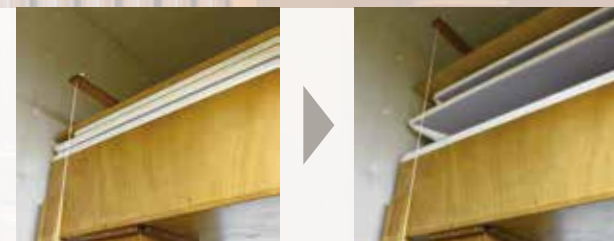
93種類

それぞれに鍵盤が割り当てられていて、ノブを引くとパイプへの空気の通り道が開くようになっています。組合せることで無限ともいえるほど多くの種類の音色を作り出すことができます。



ふいご(送風機)

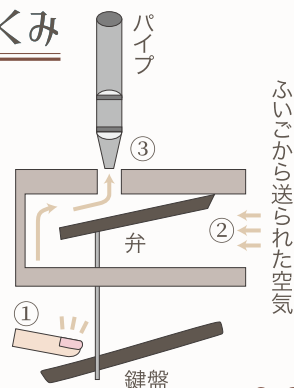
昔は人力で動かしていましたが
今では電動ファン(モーター)
によって「ふいご」に空気をためて
送り出しています。



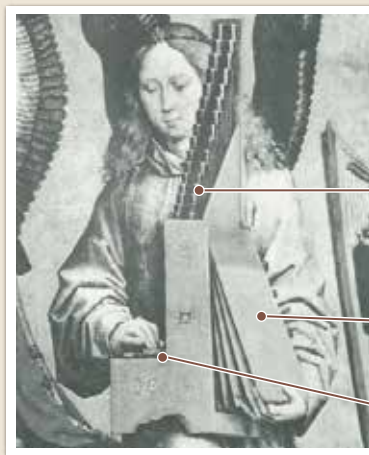
パイプオルガン音が出るしくみ

- ① **鍵盤** をおさえると弁が開き
- ② **ふいご** から空気が送られ
- ③ **パイプ** 1本1本に流れ込み

音が出る



▶ 小型のオルガンを一人で抱えて演奏している絵です。左手でふいごを操作して空気をパイプに送りながら、右手で鍵盤を弾いています。

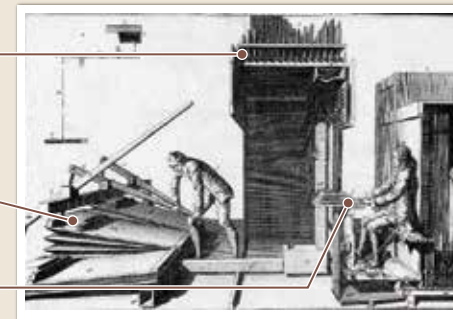


▼ 教会などで大型のものが建造される頃になると、下の絵のように曲を奏でるオルガニストとは別に「ふいご師(カルカント)」が必要となりました。

パイプ

ふいご

鍵盤





〈愛知県芸術劇場オルガニスト〉都築 由理江

愛知県豊田市出身。15歳より豊田市コンサートホールオルガン教室にてオルガンを始める。東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。これまでにオルガンを椎名雄一郎、廣野嗣雄、徳岡めぐみの各氏に、チェンバロを大塚直哉氏に、通奏低音を椎名雄一郎氏に師事。文化庁委託事業「若き音楽家による企画コンサート2012 with 赤坂達三」に入選し、愛知県芸術劇場コンサートホールでの同公演を企画・出演する(主催:愛知県文化振興事業団)。大学院在籍中より渡欧し、ウィーン国立音楽大学にてオルガンをP.D.ペレッティ氏に師事。2016年同大学オルガン科修士課程を満場一致の最優秀の成績で修了。17年、イタリアのピストイアで開催された第5回アガティ・トロンチ国際オルガンコンクール第2位。17年の完全帰国以来、地元愛知と東京を拠点に演奏活動を行なっている。18年11月より愛知県芸術劇場オルガニストに就任。(一社)日本オルガニスト協会会員。

パイプオルガンの世界へようこそ アートがもっと好きになるトーク番組を配信中!

当劇場がSpotifyで配信するPodcast「愛知芸術文化センターのアートがもっと好きになるラジオ」では、パイプオルガンの魅力や楽しみ方をお伝える音楽編“パイプオルガンの世界へようこそ”を配信中。ナビゲーターは鑑賞公演に携わるプロデューサーと企画制作担当者の2名。劇場スタッフならではの裏話を交えた、オルガンがはじめての方向けの分かりやすいトークをお聴きください。

- #01 パイプオルガンの音が出る仕組みはピアノとは違う!?
- #02 手鍵盤5段+足鍵盤1段で奏でるパイプオルガンの多彩な音色
- #03 オルガニストの個性光る音色の秘密は93種類のストップにあり!



Podcast
オルガン入門編は
こちらから

お問合せ **愛知県芸術劇場** (公益財団法人 愛知県文化振興事業団)

〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2 (愛知芸術文化センター内)

Tel : 052-211-7552 (10:00-18:00) Fax : 052-971-5541 E-mail : contact@aaf.or.jp

<https://www-stage.aac.pref.aichi.jp>

